

互いのよさを認め、支え合う人間関係を培う学級活動(1)の工夫 - 「つながりマップ」の活用と工夫を通して -

特別研修員 特別活動 宿原由美子(小学校教諭)

児童の実態

- ・友達との関わりが消極的
- ・意見を発表することが苦手

教師の思い

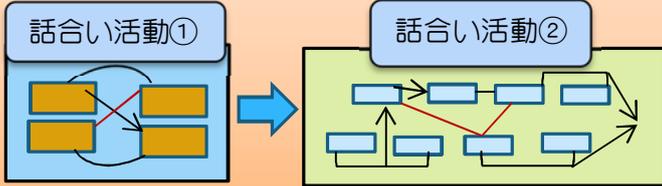
- ・互いに認め、支え合う、豊かな人間関係を培いたい

手立て

「つながりマップ」を使った話し合い活動

つながりマップとは？

全員の意見を矢印などで関連づけ、意見をまとめていくための話し合いツール



よさ

- ・全員の意見との関連が可視化できる。
- ・思考過程がわかり、全員が納得できる。

どんな場面で？

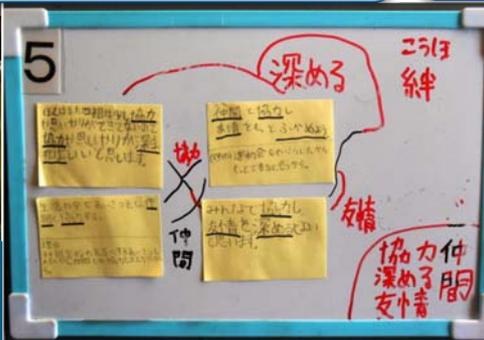
- ワクワクタイム(少人数) 話し合い活動①
- ↓
- ウキウキ決定タイム(全体) 話し合い活動②
- 比べ合う・まとめる場面で活用

実践

出し合う

比べ合う
ワクワクタイム(少人数)
話し合い活動①受容感を高める

比べ合う・まとめる
ウキウキ決定タイム(全体)
話し合い活動②認め合い、主体的に支え合う



- ・「～と似ている」など、お互いの意見をつなぎ合わせる。
- ・意見の関連性(思い)を見つけてながら付せんを置く。

一人一人の意見の良いところを考えてみよう。この思いがつながるよ。

グループでまとめた意見の中に、自分の気持ちや意見が繋がって入ってうれしいな。

- ・ヒントカードを活用し、お互いのよさや共通点について、線の種類を変えながらつながりの形を考えていく。
 - ・全員のつながり(思い)を確認し、一つの意見にまとめていく。
- つながりマップ①の完成!**

意見の中の思いを見つけると、みんなの意見が繋がっていくんだね。

- ・全てのグループのよさや共通点、思いをつなぎ、発表する
- ・つながりから、折り合いをつけ、まとめた意見を発表する。発表した意見をさらにつなぎ合わせ、全体の意見にまとめる。**つながりマップ②の完成!**

つながりマップを作ってまとめた意見の中には、クラス全員の思いが詰まっているぞ。

クラス全員で決めたことだから協力して実行していこう!

成果

- ・意見のよさや友達とのつながりの可視化により、児童の受容感が高まった。
- ・互いの意見をつなぐ活動を取り入れたことで、認め支え合い、折り合いをつけた集団決定ができた。
- ・実践の場でも支え合う人間関係が見られた。

課題

- ・少人数の話し合い活動を全体での発言に十分に生かさない場面があった。児童が発言しやすいよう、ヒントカードを工夫することにより、意見をつなぐ言葉の数を増やしていく必要がある。